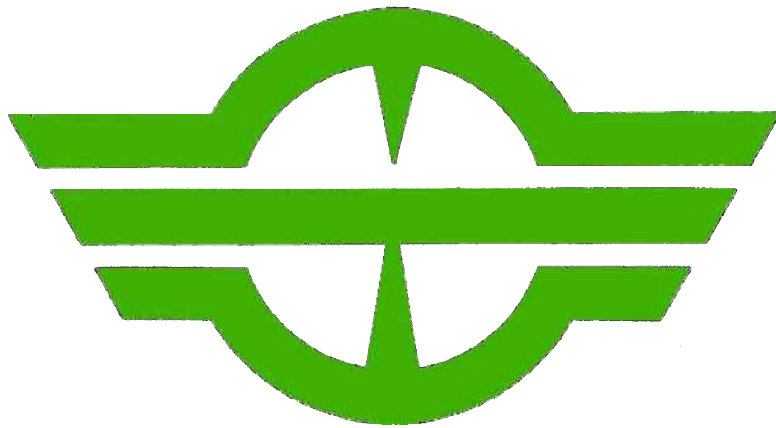


令和7年度  
教育主要施策



村章 かたかなの「イエ」をデザイン化したもので、円は村民の和を、  
大地を耕す鋤は働く農民の姿を、  
翼は村の限りない飛躍・発展を象徴している。

伊江村教育委員会



## はじめに

伊江村第5次総合計画の教育・生涯学習分野の展望で示された「自ら学ぶことを楽しみ、地域で学びあう村」を基に、教育委員会では「15歳で島を巣立つ子どもたちが、健やかな体、豊かな心、確かな学力を育み、自律して行動できる子の育成」「村民一人ひとりが生涯学習やスポーツを通して、幅広いコミュニケーションを図り、心と体の健康増進を図る」「子どもから大人まで全ての村民が学びあい、村づくりにかかわりながら、島の歴史を伝え平和の大切さを継承していく」ことを目指し取り組みます。

学校教育においては新たな学びの在り方が検討され、子どもたちの安全・安心を最優先しながら GIGA スクール構想の実現が図られています。令和2年度に整備したタブレット端末 407 台を買い換え、デジタル教材ソフトとともに授業で活用し、Society5.0 の到来に向けた情報教育の充実を図ります。

さらに、多様な能力を育て、力強く未来を切り拓く人づくりを目指して、外国語教育の充実や国際交流、キャリア教育、ふるさと教育、リーダー育成のための「縦の絆活動」を図り、児童生徒の「島建ちの教育」をさらに推進していきます。

社会教育、芸術・文化財等の保護、振興では、社会教育団体や文化協会等と連携し、村民の主体的な学びと活動を支援し、多様な学習機会を提供します。

また、戦後 80 年を迎えることから、内容を拡充した小中学生への平和学習や戦中戦後の写真展等の事業を実施します。

社会体育については、総合運動公園等の施設を活用して、幅広い世代が運動やスポーツに親しみ、自らの健康増進と生きがいづくりが図られるよう取り組みます。

本年度も、村民が自立して互いに助け合いながら、健康で、学び、働き、子どもを育て、心豊かに暮らし続けられる村づくりのため、次の主要施策6項目を示し、村民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和7年4月1日

伊江村教育委員会

## I 伊江村民憲章

私たちは、伊江島のすばらしい自然と古い歴史を誇りとし、明るく豊かで住みよい村を築くためみんなで努力します。

＜私たち伊江村民は＞

い い島 よい村 汗で きずく (勤労)

え い知と融和で ふる里づくり (融和)

し んせつ やさしさ 豊かなところ (親切)

ま もり育てよう われらが文化 (文化)

## II 村の将来像

自然豊かな環境で誇りを持って、みんなが協働し、活気あふれる村  
(伊江村第5次総合計画より)

## III 伊江村教育の理念

伊江村教育委員会は、日本国憲法、教育基本法の精神に則り、沖縄県教育振興基本計画と整合性を保ちつつ、21世紀を担う知・徳・体の調和のとれた幼児・児童・生徒を育成するとともに、幼児期から高齢者まで、すべてのライフステージにおいて、心豊かに生きがいの追求できる生涯学習社会の推進を目指して教育・文化・スポーツの充実と振興を図ります。

そのため、「イーハッチャーの精神」の伝統を尊重し継承・発展させるとともに、「伊江村民憲章」及び「伊江村第5次総合計画」の具現化に努め、国際化や高度情報社会等、時代の変化に対応できる人材の育成と生涯学習社会の実現を目指します。

## IV 島建ちの教育

村民が自立して互いに支え合い、健やかに学び、島を興す人材の育成を目指すために「島建ちの教育」を推進していく。

## V 伊江村教育の目標

- ・自ら学ぶ意欲を育て、思考力・判断力・表現力を育み学力の向上を目指すとともにねばり強さを持つ幼児児童生徒を育成する。
- ・平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な村民を育成する。
- ・学校・家庭・地域・行政の相互の連携及び協力のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会の実現を図る。

# 目 次

## ■主要施策

- I 「生きる力」を育む学校教育の充実…………… 1 ページ
- II 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり…………… 2 (上) ページ
- III 多様な学びの享受に向けた環境づくり…………… 2 (下) ページ
- IV 文化の保存・継承・創造と発展…………… 3 ページ
- V 希望と活力にあふれる社会体育の形成…………… 4 (上) ページ
- VI 新しい時代を展望した教育行政の充実…………… 4 (下) ページ

## ■伊江村教育主要施策体系…………… 5 ページ

## ■学校教育

- I 学校教育の充実（生涯学習の基礎の充実）…………… 6 ページ

## ■社会教育・教育行政

- II 社会教育の充実（生涯学習機会の提供）…………… 10 ページ
- III 教育行政の充実（新しい時代を展望した教育行政の充実）…………… 16 ページ

## I 「生きる力」を育む学校教育の充実

### (1) 学校教育について

- ① 今後児童生徒が直面する「Society5.0時代」の到来、社会全体の「デジタル化・オンライン化」など、急激に変化する時代を生き抜くため児童生徒の育成を目指します。
- ② 15の島立ち後も伊江村出身であることに自信と誇りを持ち、将来自分が住む地域（世界各地・日本・沖縄・伊江村）においても地域社会に貢献できる、島の将来を担う児童生徒を育成します。

### (2) 学力向上推進について

- ① 学校教育の重要課題と位置づけ、「子供の姿に基づく授業改善」を通じて、「自立した学習者の育成」をめざします。
- ② 「伊江島スタンダード」による授業スタイルを推進し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実から「主体的・対話的で深い学び」を目指します。
- ③ 「伊江村学力向上推進委員会」を中心に、学校・家庭・地域・行政の連携を強化し、村ぐるみの教育を推進します。

### (3) 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進について

- ① 「縦の絆活動」として、異学年と交流を深めることで、「リーダー育成」「豊かな心」を育むことを目指します。
- ② 「フッ化物洗口」を実施し、本村の課題である幼児・児童生徒の歯科保健の充実を図ります。
- ③ 「不登校児童生徒への支援体制」の強化においては、「教師と児童生徒との信頼関係を基盤とした生徒指導」の充実に向けた取り組みを行います。
- ④ 「食育」の推進を図るため、生産者と連携を獲りながら地場産物を多く採り入れた学校給食の提供を行います。

### (4) 個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進について

- ① 「キャリア教育」においては、「伊江村型就業意識向上支援事業」を展開し、小学生から中学生までの縦断的な「伊江村型キャリア教育」を行い伊江村への愛着（郷土愛）と職業観の形成を図ります。
- ② 「ふるさと教育」では、村内の学習素材を活用した郷土学習や社会体験学習を行い、児童生徒の職業観やアイデンティティを育みます。
- ③ 「子ども一人一人の教育的ニーズ」に応じた、適切な学習支援を行うため、小学校における学習支援教諭、中学校の専門教科の充実に向けた非常勤講師を配置し、個々の能力を伸ばす教育の充実を図ります。また、児童生徒のソーシャルスキルトレーニングを実施し、「人とかかわる力」をつけ、子どものよりよい成長を支えます。
- ④ 「幼児教育」においては、子ども子育て支援の一環として、幼稚園の授

業料無料化を引き続き実施いたします。また、地域人材の活用を図り、「幼児期の修了までに育てほしい10の姿」を土台にした幼児教育の充実を図ります。

## II 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり

### (1) 外国語教育の充実

- ① 「国際理解教育」においては、幼稚園から中学校まで連動性のある英語教育の推進を図ります。
- ② 「ALT」を配置し、「異文化に対する理解」を深めるとともに、よりきめ細かな学習環境の充実を図ります。
- ③ 「海外短期留学」及び「ESL キャンプ」の事前事後研修の充実を図り、語学力の向上に努めます。

### (2) ICT教育の充実

- ① Society5.0の到来に向けた情報教育の充実を図り、どの教科においてもICTを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を展開します。また、ICT支援員を3学校に配置し、きめ細やかな学びの実現に向けた支援を行います。
- ② 「学びの保障」を確保するため、ICT教材の活用を図り宿題等での端末の持ち帰りを積極的に行い、自宅でも児童生徒が進んで学習できる環境整備に努めます。

## III 多様な学びの享受に向けた環境づくり

### (1) 地域を知り、学びを深める環境づくりについて

- ① 学習指導要領に基づく「地域の中の学校づくり」・「社会に開かれた教育課程」を推進し、地域の教育素材を活かしながら、保護者・地域とともに子ども達を育みます。
- ② 「多様な学習機会の創出」を目指すために、学校が中心となって保護者・地域・行政とのヨコのつながりを生かした、地域の歴史、文化、民俗芸能に触れる学習機会の充実を目指します。

### (2) 子どもたちの健やかな育成に向けた地域全体の連携

- ① 「つながり創る豊かな家庭教育機能」の充実に向けて、「規則正しい生活リズムの確立」「家庭学習の習慣化」「読書活動の充実」を図ります。
- ② 「子どもが作る弁当の日」の取り組みを実施し、子供たちへ作る楽しさ、食べる喜び、感謝の気持ちを養う取り組みを行います。
- ③ 積極的な地域行事への参加に向けて、学校・家庭・地域が相互に連携・協力し、児童生徒への声かけを促します。

- (3) 公平な教育機会の確保と学習環境の充実
- ① 各種検定の受検料補助と小中学生を対象とした学習塾受講料助成制度については、学習意欲の向上と学びの保障を図るため、引き続き、きめ細かい子育て教育支援を行います。
  - ② 「子どもの貧困問題」等に対しては、「子ども・若者支援地域協議会」を定期的に開催し、関係機関が密に連携し協働で取り組むことで、包括的且つ、切れ目のない支援体制の充実を図ります。今後も専門の相談員と学校側が協力し合い、様々な課題を抱える児童生徒への支援・サポート体制の迅速化を目指します。
  - ③ 高校や大学への進学において、向学心のある生徒が、経済的理由で進学を断念することがないように入学準備金制度、学資費用貸与制度、奨学金制度をより充実させ、支援します。
- (4) 学びと生きがいを支える多様な生涯学習環境の充実
- ① 「楽しむ」「学ぶ」「継承する」をキーワードに幼児からお年寄りまで、その世代のニーズに合わせた講演会や公民館講座を展開します。
  - ② 村民のニーズに合った「村民の村民による講座」を募集し、受講者の主体性や自由な発想を尊重し、生涯にわたり学ぶことの定着を目的とする「村民自主講座」を支援します。

#### IV 文化の保存・継承・創造と発展

- (1) イージマグチの保存・普及・継承の促進
- ① イージマグチの調査研究を行っている名誉村民の生塩睦子先生が、令和6年度に調査開始から60年を迎えました。引き続き生塩先生の協力を得ながらイージマグチの調査、継承活動に取り組んでいきます。
  - ② 「イージマグチ練習帳」等の編さんやしまくとうばの日に合わせたイージマグチ推奨運動を行うなど、普及に向けた取り組みを行います。
- (2) 文化の保存・継承・発展
- ① 民俗芸能発表会は、令和4年度から6巡目が開始となり、今年度の担当区である西江上区及び村民俗芸能保存会と連携を密に行うとともに、開催に向けて支援し、先人が遺した文化遺産である「伊江島の村踊」の保存・継承を行います。
  - ② 文化協会においては、各種サークルや民謡研究所などの活動団体が相互に連携・交流を図り、村内の多種多様な文化の振興を推進する中心的組織となるよう育成、支援し「伊江村文化祭」の開催に取り組めます。
- (3) 文化財・歴史資料等の保存・活用
- ① 文化財については、浜崎貝塚発掘調査事業の報告書刊行に向けて資料整理を進めると共に、新たな文化財指定に向けた調査を進めてまいります。



- ② 博物館・資料館機能や図書館機能等を有した「(仮称)伊江村文化センター」に関する検討を進めます。
- ③ 令和7年度は戦後80年を迎えることから、その歴史を後世に伝えるため、戦後80年企画展を開催します。

## V 希望と活力にあふれる社会体育の形成

### (1) スポーツ施設の整備・充実

- ① 伊江村総合体育館、多目的屋内運動場、野球場、さらに令和5年度完成した野球場サブグラウンド・ブルペンを含めた体育施設の管理運営に努めます。
- ② 総合運動公園を活用したスポーツ合宿等のスポーツコンベンションを推進します。

### (2) スポーツ活動の推進及び村民一人ひとりが参加する生涯スポーツ

- ① 伊江村総合型スポーツクラブを中核として、生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発を図り、運動習慣の定着化を推進します。
- ② 村民の健康の保持・増進の意識高揚を図り、健康で活力ある村づくりのために競技力の向上や諸事業を展開します。

## VI 新しい時代を展望した教育行政の充実

### (1) 教育振興基本計画の推進

- ① 令和5年4月に策定した伊江村教育振興基本計画に基づき、「教育に関する事務の管理及び執行の状況点検及び評価の結果に関する報告書」を作成し、PDCAサイクルによる進捗管理を行い、各分野の推進に取り組みます。

### (2) 村民や時代のニーズに対応した社会教育施設の充実

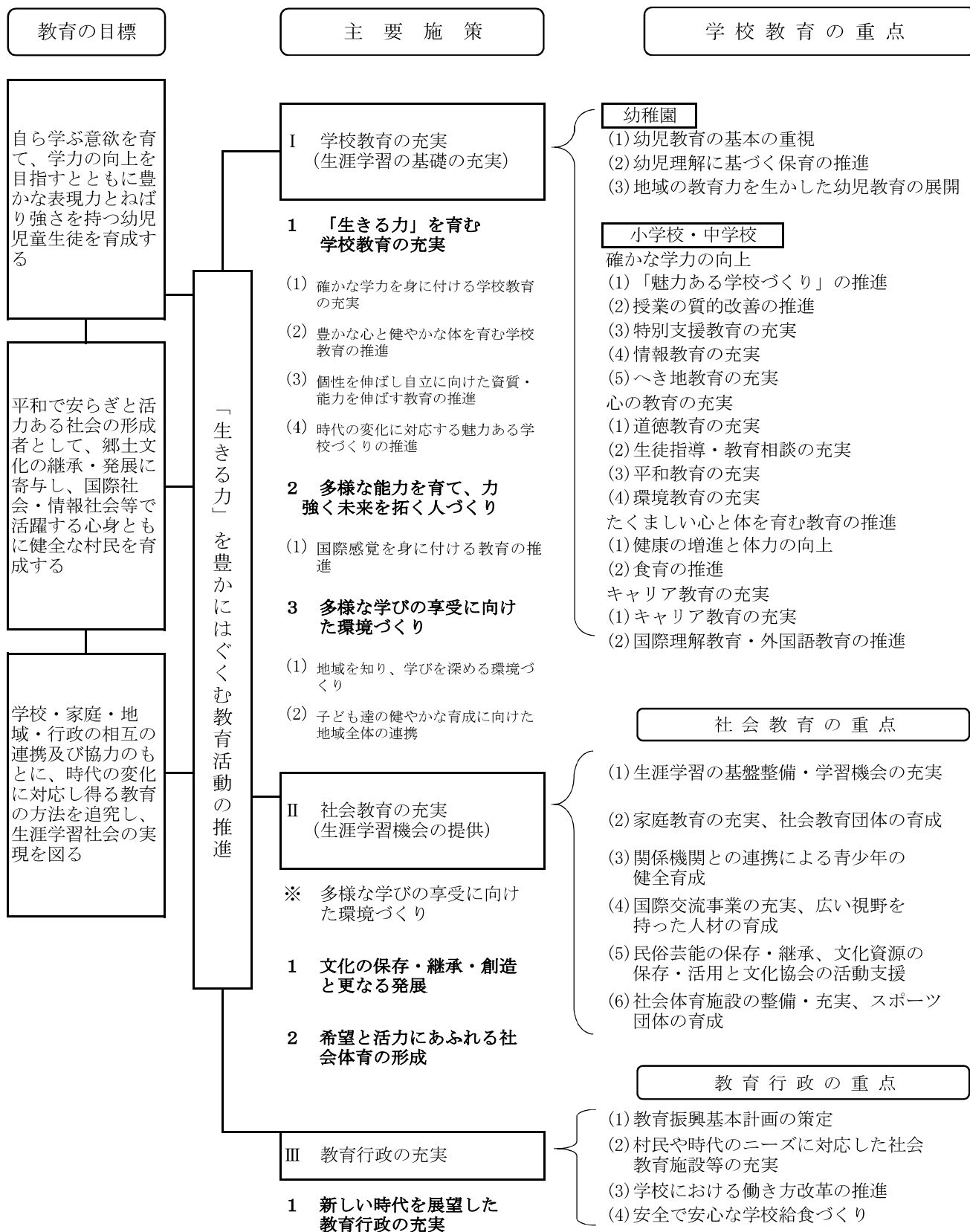
- ① 中央公民館及び農村環境改善センターの維持管理を行うとともに、施設改修を見据え、総合的な教育施設の整備方針等の検討について取り組みます。

### (3) 学校における働き方改革の推進

- ① 教職員の長時間労働などが大きな問題となる中、勤怠管理及び校務支援システムを活用し、業務の負担軽減、効率化を図ります。
- ② 日誌や週案、報告書作成などのほか、手書き作業の事務作業など、幼稚園では事務の効率化を図るため、引き続き、保育ICTシステム(コドモン)を活用し、職員の業務改善やゆとりある保育に努めます。
- ③ 教師の長時間勤務の解消等の観点から円滑に部活動が実施できるよう、中学校に部活動指導員を配置し、併せて部活動の地域移行に関する協議検討を行い指導内容の充実に努めます。また、教職員のストレスチェックを実施して快適な職場環境の形成を促進します。

# 令和7年度 伊江村教育主要施策体系

伊江村教育委員会



# 学 校 教 育

～「生きる力」をはぐくむ～



合同研



職場体験



幼小接続研



ジョブシャドウウィング発表

# I 学校教育の充実

## 生涯学習の基礎の充実

情報技術の飛躍的な進化等を背景として、あらゆる分野でのつながりが国境等を越えて、多様な人々や地域間が緊密につながる状況が進展しています。このような社会の変化は複雑で予測困難となっており、子供たちの生き方にも影響を及ぼすものとなっています。

沖縄県においては「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を令和4年3月に策定し、「多様な能力を發揮し、未来を拓く島」などの県民が望む5つの将来像の実現を図るための「基本方針」や「実施計画」を推進しております。そこには、「『人材こそが最大の資源』との考えを共有する沖縄」が掲げられ、子供たちの笑顔が常に絶えない、希望と優しさに満ちた豊かな社会の実現に向けた指針が示されている。「沖縄県教育振興基本計画（R4～R13）」では「新しい時代を切り拓く人づくり」を掲げ教育環境の充実に向け取組を行っていきます。

Society5.0時代に、本村においても子供たち自身が社会を創り上げていけるように、子供たちに必要とされる資質・能力を見据え「『島建ちの教育』～心に故郷におきつつ、世界で活躍できる人材を育てる～」として、村ぐるみで教育活動を展開していきます。

各学校においては、教育活動全体を通じて、個に応じた指導を充実させるとともに、目的意識を高める指導方法等の改善・充実を図ることで、幼児児童生徒に自己肯定感と向上心を育むなど、適切な教育課程の編成・実施に努めます。

さらに、学力向上推進については、本村学校教育の重要課題として位置づけ、学校・家庭・地域・行政の連携をとおして「幼児児童生徒一人一人の『確かな学力』を向上させ、『生きる力』を育む」を目標に、学力向上に係る取組を推進していきます。

以上のような学校教育の充実を図るために、教師の指導力を高め、日々の授業で求められている資質・能力を育むことを目標にした授業改善に努め、幼児児童生徒一人一人を大切にされた教育活動を実現していきます。

主要施策	施策項目	内容
1 「生きる力」を育む学校教育の充実	(1)確かな学力を身に付ける学校教育の充実	①小学校における学力向上の推進 ②中学校における学力向上の推進
	(2)豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進	①豊かな心を育む教育の充実 ②不登校児童生徒への支援体制の強化 ③いじめ問題への取組 ④健康増進と体力の向上
	(3)個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進	①幼児教育の充実 ②個性を大切にし、個々の能力を伸ばす教育の推進 ③学校教育におけるキャリア教育の推進
	(4)時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進	①時代のニーズに対応した「魅力ある学校づくり」の推進 ②一人ひとりのニーズに応える特別支援教育の充実 ③安心して学べる教育環境の整備
2 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり	(1)国際感覚を身に付ける教育の推進	①外国語教育の充実 ②多様な国際交流及び国際理解教育の推進
3 多様な学びの享受に向けた環境づくり	(1)地域を知り、学びを深める環境づくり	①多様な学習機会（地域素材・地域人材）の創出及び提供 ②地域の歴史、文化、民俗芸能に触れる機会の充実
	(2)子ども達の健やかな育成に向けた地域全体の連携	①つながりが創る豊かな家庭教育機能の充実 ②学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力

# 学校教育の重点

## 【幼稚園】

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」～2018 幼稚園教育要領～

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活と関わり
- ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

(1) 幼児教育の基本の重視—幼児教育の充実を図り、15の島立ちを支える基礎を育む—

- ① 「遊びを通して学ぶ」創造性、豊かな情操を育む幼児教育を推進する。
- ② 「伊江村の架け橋プログラム」の推進を図る。
- ③ 接続期カリキュラムによる幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図る。

(2) 幼児理解に基づく保育の推進 —園内研修の充実—

- ① 幼児一人一人の発達の特性に応じた実践的な研修を推進する。
- ② 幼児理解に基づいた保育を推進するとともに評価を行い、指導力の向上を図る。

(3) 地域の教育力を生かした幼児教育の展開—保護者、地域との繋がりをもとに—

- ① 地域の教育素材を生かした保育、預かり保育を展開する。
- ② 幼児教育を展開する上での専門性を生かし、保護者等に対する子育てに関する相談等に対応する。

## 【小学校・中学校】

○ 確かな学力の向上

(1) 「魅力ある学校づくり」の推進

—安心・安全が確保され、児童生徒が「学校づくり」に主体的に関わる学校文化の形成—

- ① 支持的風土づくりの4つのポイントを踏まえた教育活動の推進
- ② 特別活動と連動した児童会・生徒会活動の充実及び「自治意識」の醸成。
- ③ 「縦の絆活動」を通して、異学年との交流を深め「リーダー育成」「豊かな心」を育む。

(2) 授業の質的改善の推進—教師の学びを児童生徒に還元し学力向上を図る。

- ① 「伊江島スタンダード」に基づいた創意工夫ある学習指導を展開する。校内研究や学年会・教科会の充実で授業力向上を図る。
- ② 単元全体を見通した指導計画を行い、1単位時間で身に付けさせたい力を明確にし、指導に対する評価と自己肯定感を高める個人内評価の充実を図る。

(3) 特別支援教育の充実 —個々の教育的ニーズの把握と全校体制による教育的支援—

- ① 特別支援教育を展開するための体制の整備、充実を図る。
- ② 特別支援学級の教育課程の充実を図る。
- ③ ソーシャルスキルトレーニングを実施し、人とかかわる力をつけ子どもの発達支援等を図る。

(4) 情報教育の充実 —Society5.0の社会を見据えて—

- ① GIGA スクール構想をもとにした児童生徒の情報活用能力の育成を図る。
- ② 他者の尊重・相互理解の精神と安全で責任ある行動が取れる児童生徒の育成を図る。

(5) へき地教育の充実 —少人数の特性を生かした学習指導、合同・集合・交流学習の推進—

- ① 少人数における学習指導の改善・充実を図る。
- ② 合同学習、集合学習、交流学習を積極的に展開する。

○ 心の教育の充実

(1) 道徳教育の充実 —自他の生命を尊重する心の基盤に「豊かな心」を育む—

- ① 「考え・議論する」道徳の授業実践を図り、教育活動全体を通じて道徳的実践力を育成する。
- ② 家庭・地域社会と緊密に連携し、豊かな心を育成する。

(2) 生徒指導・教育相談の充実—信頼関係を基盤とした生徒指導の充実—

- ① 伊江村いじめ防止基本方針に基づいた、いじめの防止対策に努める。
- ② 登校しぶり、不登校児童生徒への支援体制の充実を図る。
- ③ 家庭・地域、関係機関等が連携し、様々な課題を抱えた児童生徒及び保護者の支援を行う。

(3) 平和教育の充実 —人権尊重を基盤に、世界の平和を希求する心を育む—

- ① 児童生徒の発達段階に応じた指導内容や指導方法の工夫・改善を図る。
- ② 人権を尊重する心、思いやりや心の寛容を育む指導の工夫・改善を図る。

(4) 環境教育の充実 —ふるさとを知り、よりよい環境を創造する資質・能力の育成—

- ① 環境に関する学習と連動し、ふるさとのよさを味わえるよう指導方法を工夫する。
- ② 家庭・地域と連携し、本村の豊かな自然環境や優れた文化財等に直接触れる機会を持つ。

○ たくましい心と体を育む教育の推進

(1) 健康の増進と体力の向上—心と体を一体として捉えた、健康の増進と体力の向上—

- ① 学校・家庭・地域社会と連携して体力の保持増進・健康教育の充実を図る。
- ② 飲酒・喫煙・薬物等の危険性を知り、回避する能力を育成する。

(2) 食育の推進 —基本的生活習慣の確立と健全な食生活を実践することのできる能力の育成—

- ① 学校における食育推進体制の確立及び充実を図る。
- ② 家庭・地域・関係機関との連携を図る。

○ キャリア教育の充実

(1) キャリア教育の充実 —教育活動全体を通じた幼児児童生徒の「キャリア教育」の促進—

- ① 「夢・なりたい自分」の実現に向けて、目的意識をもって、学びに向かう児童生徒を育成する。
- ② 15の島立ちを見据え、伊江村の教育素材を活かしたキャリア教育を推進する。
- ③ 村内外の各種産業に興味・関心を持ち、見学や体験を通じた就業意識の向上を図る。

(2) 国際理解教育・外国語教育の推進

—国際社会に対応できるコミュニケーションを図る資質・能力の育成—

- ① 国際理解教育・外国語教育の充実を図る。
- ② 短期留学等の事業を展開し、児童生徒の国際理解教育の充実を図る

# 社会教育・教育行政

楽しむ・学ぶ・継承する



## Ⅱ 社会教育の充実 (生涯学習機会の提供)

15歳で島を巣立つ子どもたちに、「生きる力」を豊かにはぐくむ教育活動として「島建ちの教育」を実践するために、家庭・学校・地域・行政が「地域の子は地域で守り育てる」の意識を持ち、様々な地域活動や異年齢交流を実践しながら、「ふるさと教育」に多くの大人が関わり、地域教育力の向上を図ります。

また、生涯学習では、「楽しむ・学ぶ・継承する」をキーワードに、村文化協会等と連携し、多種多様な文化の振興を推進するとともに、公民館講座の充実を図ります。また、イーゾマグチや伊江島の村踊など文化遺産の保存・継承に取り組み、文化の薫り高い村づくりと文化を通じた地域の活性化を図ります。

### ○主要施策・施策項目

- (1) 多様な学びの享受に向けた環境づくり
  - ① 学びと生きがいを支える多様な生涯学習環境の充実
- (2) 文化の保存・継承・創造と更なる発展
  - ① 文化行政の基盤の整備と活動の推進
  - ② 村文化協会を主体とした活動支援の充実
  - ③ 文化センターの整備に向けた検討
- (3) 希望と活力にあふれる社会体育の形成
  - ① スポーツ施設の整備・充実
  - ② スポーツ活動の推進及び村民一人ひとりが参加する生涯スポーツ
- (4) 新しい行政を展望した教育行政の充実
  - ① 教育振興基本計画の推進
  - ② 地域や時代のニーズに対応した社会教育施設の充実
  - ③ 学校における働き方改革の推進

### ○社会教育の重点施策

- (1) 生涯学習の基盤整備・学習機会の充実
  - ① 公民館講座（各教室）の推進  
幼児からお年寄りまで、それらの世代のニーズに合わせた講演会、公民館講座や自由企画講座を募集し開設する「村民自主講座」を開催するなど生涯学習機会の充実を図ります。

#### 【公民館講座等】

No	事業名	期日	備考（対象・指導者等）
1	子どもエイサー教室	8月	小学校5・6年生対象（指導：青年会）
2	お話ブック教室	適宜	村民（保・幼・小・中含む）
3	公民館研究大会	11月	沖縄県公民館研究大会
4	公民館講座	適宜	村民自主講座等
5	教育文化講演会	適宜	
6	移動図書館	年2回	沖縄県立図書館共催

※その他、村民のニーズを取り入れながら事業を展開する。

- ② 青年会、婦人会の育成支援  
青年会や婦人会の自己研鑽や地域貢献活動等の諸事業が円滑に行えるよう支援します。



## (2) 家庭教育の充実、社会教育団体の育成

### ①家庭・地域教育の充実

保護者や地域の方々と子どもとのコミュニケーションを図ることを目指し、文化継承活動、子ども会活動等を積極的に推進し、子どもの居場所をつくりながら家庭・地域の教育力の向上を図ります。

平成 25 年度から実施している「子どもが作る弁当の日」を継続して実施し、中学卒業後に島を離れる子どもたちへ「生きる力」を身につけさせる。また、基本的な生活習慣の確立を図るため、家庭では「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とした生活リズム向上に向けて引き続き取り組みます。

また、「当たり前前」のことが「当たり前」にできる「凡事徹底」の確立を図るため、関係機関と連携を図り様々な機会を通して、意識の啓発を図ります。

### ②子ども会活動の充実

子ども会活動は、子どもと親と一緒に地域を学ぶ「ふるさと教育」や集団活動を通じて「縦の絆活動」として心豊かな人間形成の醸成が図られる大切な活動であることから、各区と連携を密に諸活動を支援していきます。

#### 令和 7 年度 社会教育の事業

事業名	内容	対象	期日
子どもが作る「弁当の日」	自主・自立を目指し、子ども自らが弁当を作る。	小学 5・6 年生 中学生	毎学期 1 回
子ども会リーダー研修	リーダーについて学ぶ、レク交流等	子ども会	適宜
5.30 ゴミゼロアクション作戦	各区主要道路、公園等清掃	村民	5 月
婦人会リーダー研修	講話、実技レク、交流会等	婦人会	6 月
婦人の主張大会	各区代表による主張	婦人会	7 月
地域体験学習	各区において計画	子ども会・育成会他	適宜
青年リーダー研修	交流、視察研修等	青年会	適宜
県公民館研究大会（金武町）	公民館活動の充実のための研修	各区区長・書記	1 1 月
チューパンジャまつり（子ども会ステージ）	各子ども会によるステージ発表	子ども会	1 2 月
PTA リーダー研修	地区 P、県 P 大会へ研修等	3 校 PTA	適宜
緑の少年団活動	環境美化活動	子ども会リーダー	2 月

## (3) 関係機関との連携による青少年の健全育成

### ①青少年の健全育成

子どもの自主性や協調性、自立心を育むために、関係機関との連携のもとスポーツや文化、地域活動、体験活動等による「情操教育」の充実を図り、「感謝の気持ち」や「思いやりの心」を持ち、中学卒業後もたくましく、善悪の判断が出来る子どもの育成を図ります。

#### 【目標】

- ・伊江村青少年健全育成協議会を中心に家庭・地域・学校・行政が一体となった青少年健全育成の推進。
- ・青少年健全育成協議会等を通じた家庭・地域の声かけ運動の推進。
- ・第 3 日曜日の「家庭の日」、毎週水曜日の NO 部活デーの周知・徹底を図る。
- ・地域行事への参加を促し「地域の子は地域で守り育てる」気運の醸成を図る。

【伊江村青少年健全育成協議会の主な事業】

事業名	備考
夜間巡回指導（春・夏・冬） 少年の主張大会参加（中学生） 水難事故防止教室 各種講演会の協力	村一円  救命救急士・本部警察署協力 村一円

【「子ども110番の家」設置箇所】

《伊江小学校区15箇所》

大城商店、CK、与那城鮮魚店、(株)輝男建設、内間商店、ファミリーマート伊江東店、友寄商店、新城商店、JA伊江支店、農協給油所、(有)伊江島開発《公民館》東江上区、東江前区、阿良区

《西小学校区17箇所》

伊江売店、ファミリーマート伊江店、太洋つり具、伊江建生コン、共栄自動車サービス、西江上売店、スタジオカーズ、伊江郵便局、琉球新報イージマ販売店、伊江島観光バス(株)、(有)TMplanning、

《公民館》

西江上区、西江前区、川平区、西崎区、真謝区

(4) 国際交流事業の充実、広い視野を持った人材の育成

①国際性豊かな人材の育成

《小学生》

1. ジュニア英検の無償化支援、英会話教室による外国語学習への興味や関心を深める活動を推進する。
2. 他地域との交流体験を通じた郷土理解と異文化地域学習の充実を図る。
3. ESL キャンプの実施（5、6年生対象）

《中学生》

1. 海外短期留学・ESL キャンプの実施。
2. 村出身海外移住者子弟交流事業における、幼児児童生徒との異文化交流等の実施。

(5) 民俗芸能の保存・継承、文化資源の保存・活用と文化協会の活動支援

①文化行政の推進

「伊江島の村踊」や「具志原貝塚」の国指定文化財をはじめ、史跡や名勝、民話など豊かな文化遺産を通して、教育文化、地域の活性化、観光振興に努めていきます。さらに、古文書やイージマグチの調査・研究を行い、村民が親しめる資料づくりに取り組み、その継承を行います。

②村文化協会の活動支援

村文化協会は、書道や三線、舞踊、盆栽など15団体が多種多様な活動を行い、村の文化振興を推進しています。令和7年度も引き続き、各団体の活動支援を行うとともに周知活動を図り、文化の振興を図っていきます。

【目標】

- ・民俗芸能の保存・継承の推進及び発信（発表会・後継者育成・SNS等による情報発信）
- ・郷土資料館（はこくすこ）の企画充実（企画展、展示品の整理）、村内の郷土資料の調査
- ・文化財等の保存整備、新規文化財指定に関する調査
- ・伊江島方言の保存活用・・・イージマグチ練習帳等の編集、イージマグチ推奨運動
- ・文化協会の支援による活発な活動の促進と「村文化祭」の開催
- ・(仮称)伊江村文化センターに関する調査・検討

【文化財等関係主な事業】

事業名	備考
民俗芸能発表会（6巡目）の開催	担当区：西江上区（11月予定）
戦後80年企画展の開催	戦中戦後の資料等を展示する企画展の開催
文化財の調査・指定	文化財保護審議会
伊江島方言研究、保存活用	生塩睦子先生（イージマグチ練習帳等の編集）、イージマグチ推奨運動
埋蔵文化財試掘・発掘調査（資料整理）	浜崎貝塚資料整理（野球場整備工事に係る）
村文化祭の開催	村文化協会（12月予定）

(6) 社会体育施設の整備・充実、スポーツ団体の育成

①基本目標

健康で心豊かな生活を目指し、生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図る。

②基本方針

健康で活力のある村づくりのために、「村民だれもが、いつまでも健康で、元気に明るく」をコンセプトに、伊江村総合型スポーツクラブを中核に地域や諸団体と連携して、生涯レクリエーションやスポーツの情報を発信し、サークルの育成や運動の機会を提供し運動習慣の意識向上と定着を図ります。

自主事業の保育所・幼稚園のフロアリズム・アクアリズム教室や小学生、中学生の水泳教室高齢者を対象とした「どうげらん教室」、スポーツ推進委員によるスポーツの普及など、幅広い年代を対象とした健康増進事業に取り組み、施設の有効利用と利用率の向上を図ります。

競技スポーツの振興は、体育協会やスポーツ少年団などが各種競技大会や教室を開催し、競技力の向上や青少年育成を推進するとともに地域活性化を図ります。

また、総合運動公園の各施設を活用し、村外・県外からのスポーツ合宿等を積極的に誘致し、スポーツコンベンションによる地域活性化を推進します。

③重点目標

- ・伊江村総合運動公園の有効活用を図り効率的な運営を目指す。
- ・野球に加え新たな競技種目の大会や合宿の誘致を推進する。
- ・伊江村総合型スポーツクラブを中心とした運動習慣の定着化のため組織強化・会員増を目指す。

令和7年度スポーツ・健康増進の主要事業

事業名	期日	対象	備考
少年少女水泳教室	7月～8月	幼稚園、1年～6年	
プールレッスン(水泳トレーナー招聘)	7月	小・中学生対象	
少年少女水泳記録会	8月	小学生	
スポーツウィークの開催	10月	村内外	
第14回小中学生ゴルフ伊江島大会	12月	県内外小中学生	
サッカー教室	12月	FC琉球（小学生対象）	
伊江村総合型スポーツクラブ事業	通年	サークル育成、各種教室の実施	
フロアリズム・アクアリズム教室	通年	保育所・幼稚園5月～1月	
どうげらん事業（高齢者転倒防止事業）	通年	60歳以上（卓球も有り）	
産後ママ体操	月1	1年以内の産後ママと乳幼児対象	

○各種委員等の構成

1. 社会教育委員（公民館審議委員）

氏名	役職	委員の構成	備考
伊波 寿光	委員長	伊江中学校長	伊江村社会教育委員に関する条例第3条 (任期 R7.5.31)
蔵下 利樹	委員	村P連会長	
玉城 盛栄	委員	区長代表	
島袋 和代	委員	婦人会長	
大城 強	委員	文化協会会長	

2. 社会教育担当員

氏名	業務内容	備考
儀保 嘉幸	子ども会の育成、公民館講座、文化協会、その他社会教育に関すること。	伊江村社会教育指導員設置に関する規則第1条

3. 文化財保護審議会

氏名	役職	備考
宮里 徳成	会長	伊江村文化財保護審議会条例第3条による。 (任期 R7.4.30)
与那城 一男	委員	
東江 好機	委員	
儀間 五子	委員	
大城 強	委員	

4. スポーツ推進委員（任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日）

氏名	行政区	指導	年数	氏名	役職	指導	年数
知念 利弥	西江前	野球・陸上	3	東江 和也	阿良	野球	6
大城 卓	東江上	陸上	2	知念 史人	川平	バスケ	6
前田 優也	東江前	野球	2	新城 龍太	真謝	陸上	2
大城 亮	西江上	陸上	2	小濱 大樹	西崎	野球	2

5. 学校給食共同調理場運営委員（任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日）

氏名	役職	委員の構成	氏名	役職	委員の構成
井口 憲治	委員長	西小校長	前津 マキ	委員	伊江小PTA会長
島袋 洋	委員	伊江小校長	儀間 真二	委員	西小PTA会長
伊波 寿光	委員	伊江中校長	蔵下 利樹	委員	伊江中PTA会長
松永 好秀	委員	川平区長			

### Ⅲ 教育行政の充実

#### (新しい時代を展望した教育行政の充実)

令和7年度の教育主要施策は、「伊江村第5次総合計画」、「第2期伊江村教育大綱」に基づき、その施策や計画を総合的かつ効果的に推進していきます。

教育委員会は、その役割と使命を重視し、その機能を十分に発揮できるよう関係機関との相互の連携を強化し、教育行政の運営等の改善・充実を図ります。

教職員が校務の能率的運営や活力ある教育活動を展開するため、教育環境の充実・活性化を図ります。

#### (1) 教育振興基本計画の推進

令和5年4月に策定した伊江村教育振興基本計画に基づき、引き続き「教育に関する事務の管理及び執行の状況点検及び評価の結果に関する報告書」を作成し、PDCAサイクルによる進捗管理を行い、各分野の推進に取り組みます。

#### (2) 村民や時代のニーズに対応した社会教育施設等の充実

- ① 中央公民館及び農村環境改善センターの施設改修を見据えた、総合的な教育施設の方針等を検討します。
- ② ICTを活用した持続可能な活動の支援体制や環境整備を図ります。

#### (3) 学校における働き方改革の推進

- ① 勤怠管理及び校務支援システムを活用し、勤務教職員の負担軽減を図り長時間労働の改善を図る。
- ② 保育ICTシステム(コドモン)を活用し、日誌や週案などの手書き作業や保護者通知の電子化など効率化により、教諭の業務改善を図りゆとりある保育環境を支援します。
- ③ 学校における労働安全衛生管理を整備として、教職員を対象としたストレスチェックを実施して、教職員が教育活動に専念できる適切な労働環境の確保に努め、学校教育全体の質の向上に努めます。
- ④ 中学校に部活動指導員を配置し、適切な労働対価の補償を行い、円滑な部活動の実施を支援します。

#### (4) 安全で安心な学校給食づくり

##### ①学校給食のあゆみと基本理念

本村の学校給食は、昭和45年10月から共同調理場方式が実施され、平成7年8月より現在の場所で運営し、平成23年5月からは幼稚園においても給食を開始しています。平成24年9月には食物アレルギー対応調理室が完成し、全幼児・児童・生徒へ安全安心な学校給食の提供を行っています。

##### ②食育の推進

「食育」とは生きるうえでの基本であり、知育・徳育・体育の基礎となるものです。高校進学と同時に親元を離れる子ども達に、学校給食を通し、食の重要性をしっかりと伝えます。定期的な食育指導や献立作成の工夫、行事食や村内で生産された食材・栄養素等、当日の給食について紹介することにより、給食への関心を高めていきます。

また、食を通して故郷を想う心を養う観点から、村内の畜産業や、事業所と連携をとり、給食食材として多く利用する野菜を栽培してもらい、地場産物を多く取り入れた学校給食づくりに努める事により、児童生徒の「食」や「農」への関心を高め、食育の推進や村内農家の活性化へ繋げていきます。

##### ③安全・安心な給食の提供

学校や保護者、関係機関と連携を図り、アレルギー対象者の把握に努め、対応食を提供し、重度のアレルギー対象者については、栄養士・保護者・養護教諭・担任で面談を行い、緊急時の対応や連絡体制を強化します。また、現在の給食センターは築27年となることから、最新の衛生管理に努め随時作業内容の確認を行い、調理用備品等についても異物混入や食中毒が発生しないよう維持管理の徹底を図っていきます。

# 令和7年度 学校別 園児・児童・生徒数及び学級数【予定】

令和6年12月13日現在

番号	学校名	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		特別支援学級人数						合計			
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	知的	情緒	肢体	病弱	難聴	言語	特別学級支援	生徒数・	学級数	
1	(伊江)小学校	男	8		9		10	1	12	1	6	1	12	2	2		0					61	9
		女	6	1	9	1	7		6		7		8	2	0		1				3	46	
		計	14		18		17		18		13		20	4	2		1					107	
2	(西)小学校	男	18		17		7	1	10	1	8	1	8	2	4							74	8
		女	14	1	16	1	11		16		13		13	1	0						2	84	
		計	32		33		18		26		21		21	3	4							158	
3	(伊江)中学校	男	23		18		27							0	0							68	7
		女	23	2	15	1	20	2						2	2						2	62	
		計	46		33		47							2	2							130	
4	(伊江)幼稚園	男	9	5歳児	5	4歳児																14	2
		女	7		9																	16	
		計	16		14																	30	
5	(西)幼稚園	男	11	5歳児	13	4歳児																24	2
		女	11		7																	18	
		計	22		20																	42	